

2026 年度 3年次編転入学試験問題

(農学部 食品栄養学科)

(科目名: 専門科目Ⅰ・Ⅱ)

2025 年 11 月 9 日(日)

受験番号		氏名	
------	--	----	--

1) 次の記述について、正しければ○を、誤っていればXを記入しなさい。

1. 酸素とオゾンは、同素体である。 ()
2. 物質における、気体が液体になる変化を凝縮という。 ()
3. 水のように他の物質を溶かす液体を溶質という。 ()
4. アンモニアは、強塩基である。 ()
5. オレイン酸は、糖質である。 ()
6. 不可欠(必須)アミノ酸は、4種類ある。 ()
7. 酵素活性は、pHの影響を受ける。 ()
8. 肝臓では、糖新生が起こる。 ()
9. DNAを構成している五炭糖は、リボースである。 ()
10. 食物アレルギーは、I型アレルギーの一種である。 ()
11. 牛乳のタンパク質組成は、カゼイン約80%とホエイタンパク質約20%である。
()
12. にんじんに含まれるビタミンAは、水さらしで溶出する。 ()
13. 圧力鍋は、圧力を下げて水の沸点を上昇させることを利用した調理器具である。
()
14. ジャガイモは、60℃ぐらいの温度でじっくりと茹でるほうが軟化しやすい。
()
15. デンプンの構成成分であるアミロペクチンはグルコースが直鎖で繋がったものである。
()

得点

2026 年度 3年次編転入学試験問題

(農学部 食品栄養学科)

(科目名:専門科目Ⅰ・Ⅱ)

2025 年 11 月 9 日(日)

受験番号		氏名	
------	--	----	--

2) 次を示す物質の化学式を書きなさい。

1. 硝酸 ()

2. フェノール ()

3) 次の文章において、(空欄) に適当な語句を埋めなさい。また
【 】の中から適当な語句を1つ選んで○で囲みなさい。

血糖値を低下させる代表的なホルモンは () であり、

() から

血液中に分泌される。そのはたらきとして、

① 筋肉や脂肪組織に働いてグルコースの取り込みを【 促進・抑制 】する。

② 筋肉や肝臓においては、グリコーゲンの合成を【 促進・抑制 】する。

③ 筋肉や脂肪組織においては、解糖系を【 促進・抑制 】する。

一方、逆に血糖値を上昇させるホルモンとして、() や

() が

挙げられる。

得点

2026 年度 3年次編転入学試験問題

(農学部 食品栄養学科)

(科目名:専門科目Ⅰ・Ⅱ)

2025 年 11 月 9 日(日)

受験番号		氏名	
------	--	----	--

4) 植物性油脂と動物性油脂の脂肪酸組成・融点（常温での物性）・風味特性の違いについて、説明しなさい。

得点

2026 年度 3年次編転入学試験問題

(農学部 食品栄養学科)

(科目名:専門科目Ⅰ・Ⅱ)

2025 年 11 月 9 日(日)

受験番号		氏名	
------	--	----	--

1) 次の記述について、正しければ○を、誤っていれば X を記入しなさい。

1.

リソソームではたんぱく質の合成が行われる。

()
2.

僧帽弁は右の房室弁である。

()
3.

胃の壁細胞は内因子を分泌する。

()
4.

膵液は十二指腸に分泌される。

()
5.

肝細胞は門脈から動脈血の供給を受けている。

()
6.

デュラム小麦のセモリナ粉のタンパク質含有量は、小麦粉薄力粉より少ない。

()
7.

トマトの赤い色はリコペンであるが、この色素にはビタミン A としての効果がある。

()
8.

畜肉の死後硬直が始まると筋肉の pH は低下する。

()
9.

牛乳中に主に含有される炭水化物は、マルトースである。

()
10.

緑茶は発酵茶、紅茶は不発酵茶である。

()
11.

アミラーゼは、肝臓から分泌される。

()
12.

カイロミクロンは、小腸で合成される。

()
13.

ロイシンは、糖原性アミノ酸である。

()
14.

ナイアシンの欠乏症は、ペラグラである。

()
15.

ビタミン C は、ヘム鉄の吸収を促進する。

()

2) 舌の味覚の神経支配について説明しなさい。

得点

2026 年度 3年次編転入学試験問題

(科目名:専門科目Ⅰ・Ⅱ)

(農学部 食品栄養学科)

2025 年 11 月 9 日(日)

受験番号		氏名	
------	--	----	--

3) 食品に含まれる、結合水、自由水について説明しなさい。

4) 長鎖脂肪酸トリグリセリドと中鎖脂肪酸トリグリセリドの消化・吸収の違いについて説明しなさい。

得点